令和7年度「まちづくりへの私の提言」一覧

受付日	回答の要否	件名	内容	回答	担当課
4月2日	不要	下田中学校付近の桜の伐採について	桜の開花が後数日という所で桜の木が切られてしまいました。桜がトンネルのようになるのを楽しみにしていたのにバッサリ切られてしまいました。楽しみにしてたのに残念でなりません。色々理由があるにせよせめて花が散ってからにして欲しかったです。	—	学校教育課
4月22日	必要	下田市への提案	(1)市内に家屋を有する市外在住者を対象とした温泉施設等の利用割引カードの発行について (2)市が運営する大・中規模な入浴施設の建設について (3)老朽化した施設の活用について (4)湯巡り回数券の導入について (5)「風の花祭り」の再開について	(1)(2)市内の関連団体と協議の上、検討してまいります。 (3)下田市空き店舗等活用事業補助金制度等を活用した民間主体による地域経済の促進を図るとともに、支援制度の拡充について検討してまいります。 (4)下田市観光協会が発行する「下田ガイドマップ」により、協賛施設の利用料金の割引を実施しておりますので、今後も協賛企業の拡大を目指して関連団体と協議してまいります。 (5)「風の花祭り」については、下田市観光協会が中心となりボランティア等の協力のもとイベントが実施されました。今後事業が再開される際は、行政としての支援を検討してまいります。	観光交流課 産業振興課

受付日	回答の要否	件名	内容	回答	担当課
5月12日	不要	下田市にたくさんのお客様を運んだ踊り子号の車両誘致	<p>JRで急行電車から特急電車に格上げされた踊り子号の白と緑のボディーの車両が下田から去ってもう4年も過ぎました。</p> <p>たくさんの乗客を運んで下田市の観光業に貢献した輝かしい電車185系、伊豆へは踊り子号でというくらいメジャーな特急電車ですが、もうその車両も廃車解体されてしまって5月現在、2編成12両しか残っていません。</p> <p>その車両ももう命が長くありません。JRから引き取って潮風に当たらない設備に永住させてあげてほしいと思います。</p> <p>下田に行ったら踊り子号に会えるをフレーズとしてマニアや子供たちの旅行先としてもらい宿泊とセットで見学やふれあいができる設備にどうでしょうか。つい先日まで運転や撮影会で引っ張りだこで人気の高い車両です。この車両は国鉄時代からの貴重な車両です。</p> <p>185系=伊豆、下田という縮図とってよいくらいのもの。私は引退した4年前に下田などに引き取られるじゃないのかなあって思っていました。が、車両はどんどん減っていくだけで安住の地はまだないです。このままだと処分されかねません。</p> <p>もう時間がなく最後です。彼の命を救ってあげてほしいです。観光資源の一つ、下田のトレードマークにと。後世に継承する歴史的施設の一つとして大切に保管していただきたく思います。</p> <p>噂では今月最終週には処分されるような動きが出ています。もし検討できるのであればひとまず処分にストップをかけて延命してご検討していただき実行できれば幸いです。どこの自治体でもしていないことですが、この車両といえば下田しかないのご検討よろしく願いいたします。</p>	—	観光交流課
5月21日	必要	ごみ袋について	<p>平成19年～有料ゴミ袋を使用していますが、袋の強度が弱く、角ばったゴミを入れた場合すぐ縦に裂けてしまいます。ゴミを少なくする為の提案ですが、エコバッグとしても使用できるかわいい模様(例、ペルリン)のゴミ袋を増やし、スーパーで買い物した後、ゴミ袋として使用できるという物を作ってください。(強度を再考)氏名記載は裏面にするとか。</p> <p>下田市が財政難という事は承知しています。最近イオンとかどうきゅうに資源ごみ回収コンテナが設置され、助かっています。まだ使える家具とかをメルカリで販売している市もあるようなので、財政難でも知恵をしばってがんばりましょう。</p>	<p>このたびは貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>また、日頃より下田市のごみの分別、減量化にご理解いただき、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>さて、ご提案いただきました指定ごみ袋の強度につきまして、収集された多くのごみは清掃センター内のクレーン等の機械で袋を裂き攪拌してから焼却となります。</p> <p>これは焼却のムラを無くし適正に焼却するため、さらに不燃ごみ(金属類、びん、家電製品等)が混入している場合、発見しやすく、かつ抽出しやすい必要があります、現在の袋強度となっております。</p> <p>今回いただいたご意見も参考にしつつ、より使い勝手の良いものとなるよう引き続き研究してまいります。</p> <p>次にエコバッグにつきまして、現在市では海水浴場で回収したペットボトルを再利用したエコバッグを作製し、市役所で販売するなどレジ袋の削減に向けた取組を行っているところです。</p> <p>まだ使える家具等につきましても先進事例を参考にしながら検討してまいります。</p>	環境対策課

受付日	回答の要否	件名	内容	回答	担当課
6月9日	必要	下田保育所の下田認定こども園への統合について	<p>保育園の入所の中、親が育休に入った場合、対象となる児童は退所しなければならない件について、アンケートより意見を把握し、議会でも質問があったならば対応状況を公表してください。</p> <p>少子化で子どもは減少し、保育園を統合するという話がでていますが、施設的には余裕があるように感じますが、親の意思とは関係なく、なぜ一方的にだされてしまうのか。</p> <p>グローバルで外部の人間ばかりに注力するのではなく、現在下田に住む子どもたちの支援策にも主観をおいてもらいたい。</p>	<p>ご意見につきまして、下記のとおり回答します。</p> <p>保育園の入所の中、親が育休に入った場合、現在の保育の認定要件に該当しないことから、原則として退所を求めています。2歳児から5歳児については、定員に余裕があるため、特例的に受け入れているところです。</p> <p>下田市が推進する「グローバルCITYプロジェクト」では、当地域の子育て環境の充実も重要としていることから、いただいたご意見を参考に今後も取り組んでまいります。</p>	学校教育課